

【議事概要】 天塩川下流流域治水協議会（第3回） 1/3

日時 : 令和3年2月26日(金) 13:30~14:40

場所 : 幌延深地層研究センター 国際交流施設
1階 多目的ホール

参加機関 : 留萌開発建設部、留萌振興局、宗谷総合振興局、
天塩町、豊富町、幌延町、留萌北部森林管理署、
宗谷森林管理署 (順不同)

会議資料 : 留萌開発建設部 ホームページに掲載



<議事（1）天塩川下流流域治水協議会の規約改定（案）について> 資料1

留萌北部森林管理署 署長、宗谷森林管理署 署長を協議会の委員とする。

留萌振興局 産業振興部 林務課長、宗谷総合振興局 産業振興部 林務課長、留萌北部森林管理署 次長、宗谷森林管理署 次長を幹事会の幹事とする。（規約は令和3年2月26日改定）

<議事（2）各機関の取組み（予定）について> 資料2

【留萌開発建設部】

天塩町円山地区の雄信内市街付近で雄信内川、天塩川で堤防整備を進めている。さらに問寒別市街部付近で天塩川、問寒別川で堤防整備を行っていく。あわせて天塩川で河道掘削を行い、天塩川下流域における洪水時の被害軽減を図る。

天塩町産土地区、幌延町幌延地区において、地域特有の泥炭土に起因する機能低下に対して、農業用排水路や農用地の整備を行い、農地の湛水被害等を解消し、農業生産、経営の安定化を図る。

【留萌振興局】

平成22年8月の豪雨による家屋や農地の洪水被害があったことから、河川の流下能力を向上させるため、平成26年度より雄信内川および二十三号川で河道掘削等を実施している。

治山対策として山地被害から流域を守る治山施設、主に治山ダム等の整備を検討している。

森林の水源涵養機能の維持・向上を図り、流域を保全する植栽や間伐などを検討している。

【宗谷総合振興局】

市街地等を土石流から守る土砂災害対策として、砂防堰堤等の施設整備を行い、下流への土砂流出を防止し、洪水被害の軽減を図る。豊富三の沢川において砂防堰堤の整備を令和元年度から着手している。

森林の水源涵養機能の維持・向上のために無立木地での植栽や過密化した林地で間伐などを実施している。

【留萌北部森林管理署】【宗谷森林管理署】

森林の持つ土砂流出防止・洪水緩和機能を適切に発揮させるために土砂流出崩壊防備エリアなどの山地災害危険地区、天塩川および天塩川に通じる河川の上流域を対象に間伐などの森林整備を行うとともに災害に備えた林道の整備や改良を実施していきたい。

留萌北部森林管理署において、植栽、保育などの森林整備を令和3年度に予定している。

宗谷森林管理署においては豊富町で約15,000ha、幌延町で約8,000haの国有林があり、計画的に間伐等を行っていく。

【天塩町】

ハード的な対策としては、現在あるものを定期的かつ適切な維持・管理を行い、必要に応じて更新していく。関係機関と情報共有のうえ、ハザードマップ等の更新を行いながら町民の関心を高めるよう推進していく。積極的に学校と協力して児童への防災教育、ハザードマップや天塩川の紹介などの取組みも増やしていきたい。

【豊富町】

農地の排水路整備により、氾濫水を減らし、安全に流す取り組みや大雨によって低い地域に流れ出す土砂流出を軽減する取り組みとして植林による整備を行っている。市街地における内水氾濫等への対策として、雨水管渠整備を実施している。

町内を流れる豊富川での洪水被害を最小限にするために安全に流す取り組みを検討していく。

防災行政無線と連動した戸別受信機の設置や豊富町独自の緊急情報発信を通知するエリアメールを開発するなどの防災情報伝達手段の多重化を進めている。

【幌延町】

事前防災対策を強化するため、ハザードマップの作成、更新を行う。サンルダム^①の運用開始に伴う浸水想定範囲の変更などをハザードマップ、ホームページに反映していく。

簡易配水池の一部が土砂災害警戒区域内にあり、老朽化も進んでいることから、移転等を検討していく。

<議事（3）天塩川下流域治水プロジェクト（案）について> 資料3

「氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策」として、堤防整備、河道掘削、砂防関係施設の整備、農業用排水施設及び農用地整備、森林整備、治山対策、地震津波対策などを行う。

「被害範囲を減少させるための対策」として、ハザード情報を活用した土地利用等の調整・検討、水災害の発生頻度等に応じた浸水想定情報の提供を行う。

「被害の軽減、早期復旧・復興のための対策」として、関係機関による流域タイムラインの作成、ハザードマップ等の作成更新と利用促進、土地等の購入にあたっての水災害リスク情報の提供、防災教育等の実施、水防意識啓発のための広報の充実、支援および受援活用の強化、マイ・タイムラインの作成、要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進、自主防災組織の充実・強化、防災情報伝達手段の整備検討・充実、排水作業準備計画の作成を行う。

<協議会 委員より>

◎委員（副会長）【留萌振興局】（赤坂 地域創生部長：局長代理）

プロジェクト案に同意する。示し方については、さらに工夫すると、より住民に分かりやすいものになると思う。地域住民が安全・安心に暮らせるよう、密接な連携体制を構築して流域治水を推進していきたい。



◎委員【幌延町】野々村 町長

国、道、町が一体となって流域治水を推進することは非常に重要であり、プロジェクト案にある連携した流域タイムラインを作成し、広域防災連携にむけた体制づくりを行うなど、関係機関と協力して全力で取り組んでいきたい。



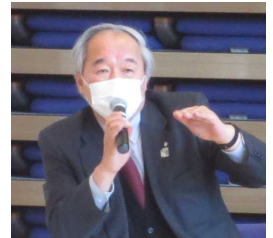
◎委員【豊富町】河田 町長

天塩川流域における河川は多くの自治体を流れて海へ通じることから、関係機関の協力なくして治水は成立しないと思う。関係機関と協力しながら、しっかりと住民の安全・安心を守らなければならないと思う。



◎委員【天塩町】佐々木 町長

町内で浸水が想定される範囲内に大型搾乳を行う施設があるほか、避難場所付近の標高が低く、連絡道路が水没する危険があることから、より1mでも高い場所に避難場所を造る事等が必要と考える。安全を守ることを念頭に関係機関と協力して進めていきたい。



<協議会 委員より>

◎委員【留萌北部森林管理署】 小向 署長

森林管理署におけるフィールドは天塩川および天塩川に注ぐ支流の上流部となるが、より、効率的かつ効果的に水害軽減につながる対策の実施にむけて関係機関と連携しながら取り組んでいきたい。



◎委員【宗谷森林管理署】 福嶋 署長

この地域における国有林は広く、大雨時の河川への影響を与えることがあり得ることから、森林整備とともに林業の作業道などの整備も合わせて行う必要があると考えている。また、治山事業も状況に応じて行っていく。



◎委員(会長)【留萌開発建設部】 村山 留萌開発建設部長

天塩川は全国4位の長さの大河川であり、特に下流域は洪水時に天塩川の影響を受ける時間が長い。流域には河川、農業、森林、治山など多くの事業が進められているが、一堂に集まり、議論するという事は、過去に無いと思われる。これを機会に連携して地域の安全・安心を確保していければと思う。



◎委員(副会長)【宗谷総合振興局】(山廣 副局長 :局長代理)

水災害を防ごうという思いを流域全体で共有し、協力できる関係を継続しながら一層の連携を図っていきたい。



協議会の同意を得たことから、協議会における流域治水プロジェクト(案)とする。

<議事(4) 今後の進め方について> 資料4

今後、天塩川下流流域治水プロジェクトは、令和2年度内の策定、公表を予定。各関係機関と最終調整を行って、協議会案を更新のうえ、第4回天塩川下流流域治水協議会(書面開催を想定)を開催して策定したい。

令和3年度以降は、流域治水プロジェクトに基づく対策の実施状況や進捗等の確認・フォローアップとともに、継続して対策等の検討、充実化を図っていく。